

ふじやまだより

第10号

発行 2003年

10月15日

本郷

ふじやま公園

運営委員会



ふじやま公園のクリーンアップ作戦

広報部会 相原 雅夫

ふじやま公園は2月に開園して半年余りが過ぎました。この間多くのお客さまをお迎えしました。古民家も昼間は開け放たれているので埃も入ります。そこで5月から古民家とその周辺の清掃を始めました。今では毎月第1, 3火曜日を「クリーンアップ作業日」として、毎回約20名の人たちが公園に集まって10時から11時まで清掃に汗を流しています。

歴史のある古民家の中には大黒柱、棚、廊下や囲炉裏のある板の間など大事なものが数多くあります。板の間、縁側や大黒柱は拭き掃除だけでなく、めいめいが作った糠袋でていねいに磨いていました。昼も空拭きしました。

屋外では園路の清掃や草むしりをしていました。ときには生垣の剪定もするそうです。また、さくらの実がなる季節には園路にたくさんの実が落ちて、掃除がことのほか大変だったそうです。これから落ち葉の季節を迎えて外の清掃はまたまた力が要ることでしょう。

10月はこのあと21日に実施される予定です。



部会便り

農芸部会

いよいよ、収穫の秋を迎えました！

ミニ収穫祭

日時：11月15日(土)11:00~12:30
 (雨天の場合は翌16日(日)に順延)
 場所：公園内農園と炭焼き広場
 内容：子供さんによる収穫体験 先着30名
 (参加費は1家族1名)
 ふじやま鍋と石焼芋 先着120名 1人¥200
 抽選による収穫品のお楽しみプレゼント
 希望者に花壇の花の種 無料頒布
 (ただし数量に限りあり)

農芸部会 高橋 晃

今年2月に開園したふじやま公園の畑も、豊かな実りの秋を迎えました。

いま、畑では、里芋が葉を笠のように大きく広げ、サツマイモは葉一杯陽を浴びて、甘さとホクホクとした味に育っています。

人参、大根、ねぎ、食用菊・・・そして、落花生が土中で実を膨らませ、ミニ田圃では縄文人が食べたという赤米(古代米)も穂を出しています。

ウコンが淡いピンク色の花を咲かせ、蕎麦は白い可憐な花で彩を添えています。

土くれを砕いて耕し、山の落ち葉で作った堆肥を施して、汗と土にまみれて育ててきた作物も、いまは静かに、収穫の時を待っています。

ドンドン、シャララ・・・朝から聞こえる笛太鼓。ふじやま公園初めてのミニ収穫祭が近づいてきました。

焼芋とふじやま鍋・・・無農薬ですし、味は天下一品です。(^ 0 ^) /
みなさまのご来園を、農芸部会員一同、心よりお待ちしております。

古民家歴史部会

ふじやま公園古民家周辺歴史の概要

古民家歴史部会 木島 健司



この地域は縄文中期(BC2500)からの集落跡があり、近くから人面把手土器・桂台式土器など多数発掘され、横穴古墳が各所に散在し、古くから人が住まい生活して来ました。

ここは律令制度が敷かれた奈良朝時代には公田として米を朝廷に献じていました。公田の単位を坪と言い今も一の坪・中の坪・柳の坪など地名が残っています。下って鎌倉時代には鎌倉の穀蔵とまで言われ上質米が生産されていました。又東の方猿田には7世紀半ばから9世紀半ばまで200年続いた大規模な製鉄遺跡があり、鎌倉の武器庫と言われています。

又鎌倉幕府の庇護が厚い光明寺・證菩提寺が広大な寺領を擁し鎌倉の北の守りとして前線基地の役割が有ったとは思ひ過ぎでしょうか。證菩提寺の脇に西行坂があります。西行法師が奈良東大寺の大仏修復勸進に奥州藤原氏を訪ねる道すがら鎌倉で頼朝に会い、あえて山越えてこの坂を下り本郷を通ったのは北の守りを偵察のためと推量するのは考え過ぎでしょうか。

證菩提寺はこの古民家の小岩井家の菩提寺でもあります。
これらに思いをいたし古民家をお訪ね下さい。

いろり守の会

或る日 いろり端での聞書



いろり守の会 炉山人

『昔、百姓家の風呂は、肥溜めの上にあるものと決まっておった。風呂で流した湯が、ジョロジョロと肥溜めに落ちる音がして、しばらくすると、湯気に混じった肥のにおいが鼻をつく。

当時、肥は大切な肥料だった。これを使う前は、水で薄めにゃあならん。水は水道をひねりゃあ出る時代じゃあない。風呂の流し湯で薄める。それに人の体から出る垢も畑の栄養になると信じられておった。風呂の湯も、垢も無駄にしない時代が、日本にはあった。』

いろり守の会では会員募集中です

11月のいろりの焚火の日 11月12日(水)、11月16日(日)、11月27日(木)
(時間 9:30~12:00)

入会希望の方は上記いずれかの日に公園母屋のいろり端までお出掛け下さい。
詳細はその際説明させていただきます。

里山部会

ふじやま公園の竹林の手入れ

里山部会 永田 隆一

本郷ふじやま公園には竹林が2ha.以上あり、その大部分が未整備です。前号でご紹介しましたように、竹は生長が速く、勢力が強いので、竹林は平均して毎年2m.ずつ拡張するといわれております。したがって、5年たてば竹林は10m.広がることとなります。

また、毎年筍が生えて、密度も高くなってきます。そこで、計画的に間伐していかないと薄暗い日当たりや風通しの悪い竹林になってしまいます。

良い竹林の条件として、傘をさして通れる位がよいといわれています。具体的には、100㎡に45~60本が適切だといわれております。しかし、ふじやま公園の未整備の竹林では100㎡に120本以上も密生しております。間伐するだけでも大変ですが、切った後の竹の処分が大変です。竹は腐りにくいので、堆肥化することができません。竿の部分は短く切って、割った後、炭焼き窯で焼いて竹炭にしておりますが、小枝の方は処分に困っております。よい方法があれば、お教えてください。里山部会では部会員を募集しております。山の手入れに関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

工芸部会

刺し子体験教室を終わって

工芸部会 頭川洋子

初めての体験でしたので 皆さんに楽しんで頂けるか心配しておりました。初めてでも簡単に刺して頂ける小物から始めました。

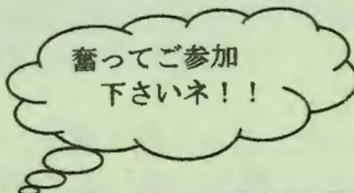
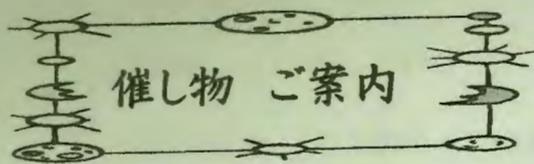
布に図案を写し一針一針刺しながら出来あがる作品を見て楽しそうでした。

お互いに出来あがった作品を確かめあったりして手作りの楽しさを感じていただけたと思いました。春は新緑、秋は紅葉に囲まれている工作棟で手作り仲間がたくさん出来ることを願っています。



作品展の
お知らせ

本郷台駅前の駐輪場展示スポットで、10月15日～10月26日の間、本郷ふじやま公園の工作棟で行われている教室の作品を展示しています。つる細工、染色、創作人形、布細工、七宝焼き、木版画、植物画があります。



L/N	教室名	開催日時	内容	定員	材料費	申込期限
1	つる工芸	12月7日(日) 13:00～16:00	竹・蔓を使って正月飾り作り	20名	¥1,000	11月20日 (必着)
2	七宝焼	12月11日(木) 13:00～16:00	クリスマスの額絵	12名	¥800	11月30日 (必着)
3	布細工 (全3回)	12月4日(木) 13:00～16:00	猿の正月飾り	12名	¥800	11月20日 (必着)
		1月21日(水) 13:00～16:00	節分飾り		¥800	
		2月18日(水) 13:00～16:00	おひな様		¥1,000	
4	遊布	12月16日(火) 13:00～16:00	雫サンタ	12名	¥1000	11月20日 (必着)

- ◎ 定員 応募者多数時は抽選とさせていただきます。
◎ 申し込み方法 往復ハガキに必要事項を書いて、期限までに本郷ふじやま公園へ

観桜大茶会 席主募集

- ・ 茶会日時 平成16年4月3日(土) 10:00～15:00 (雨天決行)
- ・ 募集席数 5席 (流派不問)
- ・ 申し込み方法 電話又はFAXでふじやま公園事務所に
ご連絡下さい。(ご連絡頂きました皆様には折り返し
申し込み用紙をお届けいたします。)
- ・ 申し込み締切日 平成15年11月30日
(申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。)
- ◆ 抽選日は後日ご連絡いたします。(12月上旬予定)
- ◆ 参加決定の方には後日公園にご集合頂き詳細を
打ち合わせさせて頂きます。

◆ 本郷ふじやま公園
運営委員会

〒247-0009
栄区鍛冶ヶ谷1-20
Tel:896-0590
Fax:896-0593

◆ 緑政局中部公園
緑地事務所

Tel:711-7802
Fax:712-6260

古民家ゾーン ご利用案内

- ◎開館時間 : 9:00～17:00
- ◎休館日: 毎月第1水曜日 (祝日の場合はその翌日)
- ◎入館料: 無料
- ◎最寄のバス停: 中野町又は鍛冶ヶ谷町 (神奈中バス)